

平成 30 年 7 月豪雨および北海道胆振東部地震に対する J A グループの対応状況について

平成 30 年 10 月 11 日
全国農業協同組合中央会

1. 平成 30 年 7 月豪雨への対応

(1) 「平成 30 年 7 月豪雨 J A グループ支援募金」の実施

- 平成 30 年 7 月に西日本を中心に発生した豪雨被害により、多くの人命が奪われ、土砂崩れや浸水をはじめ、農業や関連施設等にも大きな被害が発生した。
- このため、J A グループでは、J A グループ役職員、青年組織盟友、女性組織メンバー等を対象に、7 月 13 日から 9 月 14 日までの 2 カ月間を支援募金実施期間として取り組んだ。
- 取り組みの結果、募金総額は 200,853,633 円(10 月 1 日時点、入金確認分)となっている。
- 募金は農業関係被害額が 100 億円以上発生している被災県(被害額は各県庁が公表している数値)に対して贈呈する。贈呈の配分は、被害額比率割合で以下の通り算出した。

県名	農業関係被害額	支援募金贈呈額
岡山県	約 162 億円	29,261,051 円
広島県	約 486 億円	87,783,152 円
愛媛県	約 464 億円	83,809,430 円
合計		200,853,633 円

- なお贈呈は、今後すみやかに 3 県の J A グループ災害対策本部宛てに送金する。

(2) J A グループ支援隊の派遣

【岡山県】

- 倉敷市真備地域を中心とした農地復旧支援については、県内支援隊・N P O ボランティア等にて対応しており、全国支援隊の派遣にかかる要請には至っていない。

【広島県】

- 8月7日以降、JAグループ支援隊を派遣している。
- 第1次支援隊は8月7日から全国機関の職員20名で組成し派遣した。9月17日より、第2次支援隊として全国のJAグループから支援隊を募り、10月11日まで4陣に渡り派遣している。
- 1陣あたり約20名で、述べ101名(252.5人日)の支援隊がJA広島中央管内に派遣されており、今後も現地の要請にもとづき延長する可能性がある。

【愛媛県】

- 8月27日より全国のJAグループから支援隊を募り、11月1日まで10陣に渡り派遣している。
- 1陣あたり約30名で、述べ214名(535人日)の支援隊が、JAえひめ南、JA愛媛たいき管内等に派遣されており、今後も現地の要請にもとづき延長する可能性がある。

2. 北海道胆振東部地震への対応

(1) 「平成30年北海道胆振東部地震対策中央本部」の設置

- 9月6日付で災害対策本部を設置し、被害状況についてJA北海道中央会を通じて情報収集等を行っている。

(2) 「平成30年北海道胆振東部地震JAグループ支援募金」の実施

- 9月25日から11月26日までの2カ月間にわたって「平成30年北海道胆振東部地震JAグループ支援募金」を実施している。

(3) 災害見舞金の贈呈

- 本日、JAグループ全国団体による災害見舞金をJA北海道中央会の飛田会長(平成30年北海道胆振東部地震・台風21号に係る北海道農業団体災害対策本部長)へ贈呈した。

以上